

(第2号様式)

南農第2004号  
令和8年3月18日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立南部農林高等学校  
校長 中村 幸弘  
(公印省略)

### 令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付、教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	2025/7/17(木) 16:00～17:00	南部農林高等学校 校長室	学校評議員(5)、校長、教頭、事務長、職員(5)
第2回	2025/11/11(火) 14:00～15:00	南部農林高等学校 校長室、HR教室等	学校評議員(4)、校長、教頭、事務長、※各教科(授業参観)
第3回	2026/3/17(火) 16:00～17:00	南部農林高等学校 校長室	学校評議員(4)、校長、教頭、事務長、職員(5)

#### 2 学校評議員に求めた事項

- ①学校概要、グランドデザイン(学校教育全体構想)と学校経営方針に関する意見・助言等
- ②各部の反省や努力点に対する意見・助言等
- ③生徒の活躍や学校施設、PTA・同窓会との連携に関する意見・助言等
- ④魅力ある学校づくり、地域に開かれた南農及び生徒募集に関する意見・助言等
- ⑤教職員の働き方改革や資質向上に関する意見・助言等
- ⑥授業参観に関する感想及び意見・助言等(ICTを活用した授業 他)

#### 3 学校評議員の意見

- ①学年末反省等を教職員で共有し、組織の連携強化や業務改善につなげて欲しい。
- ②学科の専門分野だけでなく、他分野へも進学・就職する生徒もいるので、多様な生徒への視点を広げた進路指導が必要である。
- ③地域人材の積極的な活用を促すことで、地域に根ざした学校の存在意義を高めて欲しい。
- ④学校への帰属意識を高め南農生としての誇りを醸成して欲しい。(80周年事業に向けた取組など)

#### 4 学校運営に反映した事項

- ①各部・学科・学年の取り組み及び改善すべき事項について全職員で共有、方向性を明確にできた。
- ②学科・進路指導部と連携したキャリア教育の充実に取り組んだ。「はじめの一步」や「インターンシップ」をとおして、職業観の醸成を図る取り組みについて系統的に実施できた。
- ③プラットフォーム会議など、地域人材を活用した取り組みができた。
- ④創立77周年行事では、本校同窓生 新里 菊也 氏 を招いて「持続可能な農業について」と題して、記念講演会を開催した。

#### 5 課題その他

- ①生徒指導・生徒支援の連携を図り、多様な生徒へのきめ細やかな対応に努める。追試の取り組み。
- ②GIGAスクール構想推進への取り組み。(1人1台端末及びオンライン学習サービスの活用)
- ③地域や企業の人材を活用した、キャリア教育の充実及び人材育成。
- ④学校への帰属意識を高め『南農生』としての意識の向上。
- ⑤近隣中学校との連携など、今年度の生徒募集活動を継続し、志願者の確保に努める。